

議会 だより



令和2年 10月 22日

飯田市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.220

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80
古紙配合率80%紙



第2回臨時会及び第3回定例会 ②～③
一般質問 ④～⑥
議会による行政評価 ⑦
委員会 ⑧～⑪
ここに注目 ⑫

夏休み子ども寺子屋(丸山)

～水引のアマビエで疫病退散を願って～

議会だより より読みやすくりニューアル中

令和2年

第2回 臨時会

8月4日
開催

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業費の第4弾を内容とする一般会計補正予算（第6号）案などの案件を審議するため、8月4日に第2回臨時会を開催しました。

執行機関から令和2年度補正予算に係る報告案件1件、令和2年度補正予算に係る予算案件2件の提出があり、予算決算委員会での審査を経て、いずれも承認及び可決しました。

報告案件の内容は専決処分で、6月～7月までの豪雨による災害復旧費30億9,050万円で、土木施設630カ所、農業施設373カ所、林道222カ所の災害復旧事業に関するものです。

予算案件の内容は、①一般会計補正予算、「新たな生活様式」への適応と感染再拡大への



▲市道上村102号線の災害現場

対応のための事業費12億2,980万円、②病院事業会計補正予算、県補助金の増額による収益的収入1千万円と、資本的収入789万6千円、院内感染防止のための施設改修工事費に要する資本的支出2,919万4千円です。

第4弾の特徴

- ・「3密」の回避や「新しい生活様式」に適応した事業形態に取り組む事業所の衛生設備等の導入に対する補助
- ・サテライトオフィス等の開設支援
- ・感染拡大に備えた市立病院の改修
- ・感染症対策、児童生徒の学習保障の取組を校長の判断で迅速かつ柔軟に対応できるように支援
- ・住宅確保給付金の支給など

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業費(第4弾)の主な内訳

事業費 13億1,114万円

①事業者等への支援

7億1,233万円

事業所の感染症対策支援、新型コロナウイルス対策資金の新設など

②地域の医療を守る

9,211万円

救急医療体制の維持に向けた支援、検査体制の強化など

③教育現場への対応

3億9,970万円

コロナ禍に対応する学校運営の支援など

④個人への支援

1億700万円

飯田市新生児育児応援支援金の支給など

議案の提出件数

報告	3
人事	6
条例	2
一般	3 (1)
予算	6
決算	13
計	33 (1)

()内はうち議会議案の数

初日提案の報告案件3件及び人事案件6件は、即決採決により全て同意しました。中日提案の新型コロナウイルス感染症緊急対策事業費の第5弾を内容とする一般会計補正予算（第8号）などの予算議案6件及び初日提案のその他の案件18件については、各常任委員会による審査を経て、最終日に全て可決しました。



令和2年

第3回 定例会

8月25日
～
9月23日
開催

第5弾の特徴

- 地元企業のプロフェッショナル人材確保への支援
- 公共交通事業者(高速バス)の感染症予防対策への支援
- 妊産婦等を対象としたオンライン会議による相談会の実施
- 投票所及び開票所における感染防止対策
- 指定管理施設の休業に対する補填など

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業費(第5弾)の主な内訳

事業費 5億9,701万円

①事業者等への支援 1億9,558万円

飯田市持続化支援給付金の支給など

②個人への支援 191万円

生活支援相談窓口対応職員の雇用期間の延長

③地域の医療を守る 433万円

地域外来・検査センター従事医師等に対する罹患補償など

④教育現場への対応 3億3,469万円

小学校の特別教室への空調設備の整備など

⑤その他の対策 6,050万円

市役所におけるWEB会議、テレワークの導入など

令和元年度飯田市各会計の決算を認定

令和元年度 会計別決算額一覧

【単位:千円】

会 計 名			令 和 元 年 度		
			歳 入	歳 出	差 引
単 体 会 計	普 通 会 計	一 般 会 計	47,634,267	45,895,373	1,738,894
		墓 地 事 業 特 別 会 計	26,828	15,257	11,571
		ケーブルテレビ放送事業特別会計	76,965	72,142	4,823
	特 (普 通 別 会 計 分 除 く 計)	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	9,198,816	9,088,628	110,188
		事 業 勘 定			
		直 診 勘 定	4,410	4,409	1
		後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	1,444,415	1,425,243	19,172
		介 護 保 険 特 別 会 計	11,717,065	11,530,367	186,698
		地 方 卸 売 市 場 事 業 特 別 会 計	15,733	11,517	4,216
		駐 車 場 事 業 特 別 会 計	86,342	65,121	21,221
		介 護 老 人 保 健 施 設 事 業 特 別 会 計	718,184	695,615	22,569
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計		14,943,217	15,699,858	△ 756,641
		収 益 的 収 支	13,505,799	13,362,090	143,709
		資 本 的 収 支	1,437,418	2,337,768	△ 900,350
			3,103,320	3,707,853	△ 604,533
	水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 支	2,194,922	1,880,725	314,197
		資 本 的 収 支	908,398	1,827,128	△ 918,730
	下 水 道 事 業 会 計		5,426,799	5,925,591	△ 498,792
		収 益 的 収 支	4,035,726	3,403,795	631,931
計		資 本 的 収 支	1,391,073	2,521,796	△ 1,130,723

※上表は、会計間で移動した金額を控除する前の額となっています。

※企業会計は、収益的収支と資本的収支を合計すると支出の方が大きく赤字に見えますが、これは一般会計などとは異なり減価償却費などの非現金支出を計上しているためです。

令和元年度の決算において、一般会計、墓地事業特別会計、ケーブルテレビ放送事業特別会計の合計である普通会計は、歳入総額476億3,394万円、歳出総額458億7,865万円となり(会計間で移動した金額を控除した後の額)、令和2年度に繰り越す財源1億9,062万円を除いた実質収支は、15億6,467万円の黒字となりました。また、令和元年度のみ決算状況を表す「実質単年度収支」は、財政調整基金への1億451万円の積立を加えて7億1,091万円の黒字となりました。

地方の財政需要と国との連携について

福澤 克憲 議員（市民パワー）



A 国に対しては、全国市長会を通じて当地域の実情や要望を伝えている。国と地方が緊密な連携を図ることで地方創生臨時交付金の拡充、医療提供体制の確保や財源措置等が実現できている。引き続き地方の実情や課題を国にしっかりと伝え要望していくとともに、国県と連携しながら「住んで安全、暮らして安心」な飯田市づくりを努めていきたい。

Q 地方だけでは解決できないコロナの課題については、国に対してしっかりと伝えていくことが大切では。

ズバリ 市政を問う!

第3回定例会の一般質問の概要を紹介します。（13人・質問順）

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子はYouTubeで動画配信しています

希望者にコロナウイルス検査を家庭でのコロナ対応計画づくりは

木下 徳康 議員（会派のぞみ）



A 経済活動や市民活動を安心して行うためには、医療と身の陰性を確認できる場が必要と考えている。コロナウイルスに罹患した場合の本人や家族の対応や、判明後の取るべき行動等について、前もって家庭内で話し合いをすることは有効である。

■防災について

Q コロナウイルス検査を希望者にも広げ、補助も必要ではないか。家庭での「わが家のコロナ対応計画」づくりを進めようか。

牧野市長の考えるこれからの市政運営について

清水 優一郎 議員（会派のぞみ）



Q コロナ禍で変わる社会をどう捉え、これからの飯田市をどう導くか。

A 一極集中の時代から分散型社会への移行が進む。サテライトオフィスの誘致、移住者の受け入れに力を入れていく。エス・バードについては「信州大学南信州キャンパス」も視野に入ってきている。当市の「環境文化都市宣言」に新しい技術や未来志向を加えた「環境文化未来都市」を描いている。次の飯田に向かって私の思いを伝え、未来へとつなげていく。

■社会基盤の維持管理について

観光産業の支援及び需要喚起について

塚平 一成 議員（会派のぞみ）



A 観光プラットフォーム事業は、国の観光施策等による誘客のため、市内旅行業者を中心に、各分野の事業者と連携し地域資源を生かした着地型の旅行商品を開発し、旅行者の需要喚起を促すための事業を実施するもの。しかしながら、コロナ感染状況等を鑑み、具体的な旅行商品の開発や広報宣伝による誘客については、開始時期を検討している。

Q 地元業者が一体となった観光プラットフォーム事業の目的達成、そして飯田の観光振興へ向けた取り組みは。

新文化会館を中心市街地に整備するとした論拠は

岡田 倫英 議員（会派のぞみ）



Q まちなかとのつながり、すなわち「余韻の中の交流」が重要と受け止めるが、どのように考えているか。

A 新飯田文化会館を中心市街地に整備する大きな視点は3つある。1つ目は都市の顔としての視点。2つ目は鑑賞後の余韻の視点。文化芸術を鑑賞後に中心市街地で食事や散歩をして催しの余韻や交流を楽しみ、豊かな時間を楽しめる利点がある。3つ目はJR、バスなど公共交通の結節点の近くにあるという立地条件の良さという視点がある。

リニア中央新幹線の 必要性について

後 藤 莊 一 議員（日本共産党）



A リニア中央新幹線に関しては、東海道新幹線の経年劣化や大規模災害に対する抜本的な備え等の必要性から、国が工事実施計画を認可し、国家プロジェクトとして位置付けている。JR東海、国、沿線の県・市町村が2027年開業を実現するよう同じ方向で取り組んでいるところであり、今後変わることはないと思っている。

Q コロナ禍で東海道新幹線の利用客が減少している中、リニア中央新幹線の必要性をどう考えるか。

子どもの読書活動の 推進について

木 下 容 子 議員（市民パワー）



Q 今年はブックスタート開始20年。子ども推進計画に沿ってセカンドブック事業に取り組む考えは。

A 過去のアンケート結果によると、絵本プレゼントをきっかけに、それまで読み聞かせをしていなかった保護者のうち9割の方が、家庭で読み聞かせをするようになったなど大きな成果が出ている。現在改定作業を行っている第4次図書館サービス計画の中で、セカンドブックといった方策についても検討を進めていきたい。

飯田市の教育について

古 川 仁 議員（日本共産党）



A 育進事業により小学校では全学年35人、中学校でも選択制ではあるが、35人学級を基本としている。さらなる少人数学級の実現は教員の人材確保、財政面等からも現実的には難しいと考える。まずは国・県の動向を注視していきたい。

■新型コロナウイルス感染症対策について

Q 3密を避け、児童・生徒にしっかりと寄り添えるよう、少人数学級への検討はどうか。

観光戦略及び地域活性化推進のための ユネスコ無形文化遺産登録について

新 井 信一郎 議員（会派のぞみ）



Q 「神楽」（湯立神楽）をユネスコ無形文化遺産登録し、地域活性化と伝統継承、観光戦略につなげないか。

A ユネスコ無形文化遺産登録が実現すれば、神楽の価値が見直され、これまで以上に祭りの歴史や意義を学び、継承への機運が高まり、地域に活力が生まれることが期待できる。ひいてはそれが観光振興につながる可能性を秘めている。関係する地域の皆さんとビジョンを共有し、霜月まつりを保存継承できる地域づくりを積極的に支援していきたい。

移住定住促進に「健康」を キーワードとしてはどうか

山 崎 昌 伸 議員（会派のぞみ）



A 交流人口と関係人口の拡大に向けて、ニーズと地域資源を組み合わせた魅力づくりと発信が必要と考える。クアオルト（健康保養地）の事業も含めた健康面でのまちづくりはまだ工夫の余地、資源の組み合わせの余地、発信の仕方の工夫が必要であると認識している。貴重な提案として、ひとつのテーマとして検討していきたい。

Q コロナ禍による健康志向、健康長寿日本一の長野県のイメージを活かして、「健康」のまちづくりを。

第8期介護保険事業計画の 策定に向けて

永 井 一 英 議員（公明党）



Q 地域共生社会構築の要「生活支援コーディネーター」には、ごみ屋敷などの課題を解決に導くCSW※のレベルを要求したいが。

A 地域共生社会の実現のためには、制度のはざまの課題から地域づくりへつなげるような住民と協働するケースワーカーが必要と考える。当市は、飯田市社協に配置している地域福祉コーディネーターが生活支援コーデイネーターを兼ねて配置されている。地域福祉課題検討会で役割や配置のあり方を検討していきたい。

※CSW コミュニティソーシャルワーカーの略

ゆるやかなつながりを重視した 自治組織について

吉 川 秋 利 議員（会派のぞみ）



A 高齢者世帯に今までどおりの役員負担や労役をお願いするのが難しい状況にある場合には、会費負担を求めることはあるけれども労役を免除したり、自治活動の負担金の減免制度を設けるなど、組織の運営の中で配慮・工夫をしていただいている事例もある。住民の皆さんが地域から孤立せずに融和を保って生活する環境づくりが重要である。

Q 転入者や、高齢となって役員を受けにくい人も同じ圏域で快適に暮らせる、新たな自治組織の構築は。

道路改良における 車川下流の越水対策は

木 下 克 志 議員（会派のぞみ）



A 県道改良の設計と並行し、雨水や井水の車川への流入状況、他の河川への分水の可能性調査を行い、詳細な改修方法の検討が必要と考えている。県とともに、市としても車川の対策について検討を進め、これまでの断面検証等に加え、上流部での分水構造検討などと合わせて下流の改修方法等をまとめていきたい。

Q 道路改良（さわやかロード下山工区）に伴う車川下流の豪雨時の越水対策は。

■ 組合未加入対策について

請願の審査結果

種別	内 容	結果	審査を行った委員会
請願第3号	国に対し、辺野古新基地建設工事を中断して、話し合いを求める意見書の提出について	不採択	総務委員会
請願第4号	国に対し、消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出について	不採択	総務委員会
請願第5号	国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	採 択	総務委員会

令和2年第3回定例会では、請願3件を総務委員会で慎重に審査を行い、本会議でも議論を尽くしましたが1件を「採択」とし、2件を「不採択」としました。採択の結果を経て、市議会は9月23日付けで国に対して下記のとおり意見書の提出を行いました。

国に対し、「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出しました

【意見書の主旨】 本文を一部省略

地方公共団体が担うべき役割は一層増大してきており、これに見合う財政措置が過大となっている。

多様なニーズへの対応と行政サービスの質の確保を実現するためには、政府が地方公共団体の財政需要を的確に把握し、地方交付税等の一般財源総額を確保することが不可欠である。

地方公共団体においては、新型コロナウイルス感染症対策などに係る歳出の増加、経済の下振れによる税収の減少を踏まえた財政運営が必要となっている。

よって、国において地方公共団体がその担うべき役割を確実に実現するため、地方財政全体の安定確保に向けて、次の事項について対策を講ずるよう強く要請する。

1 一般財源確保に当たって、地方公共団体の財政需要を的確に把握し反映させること。
2 地方交付税による財源調整機能及び財源保障機能の強化特例的な措置である臨時財政対策債に頼らない地方財政を確立すること。

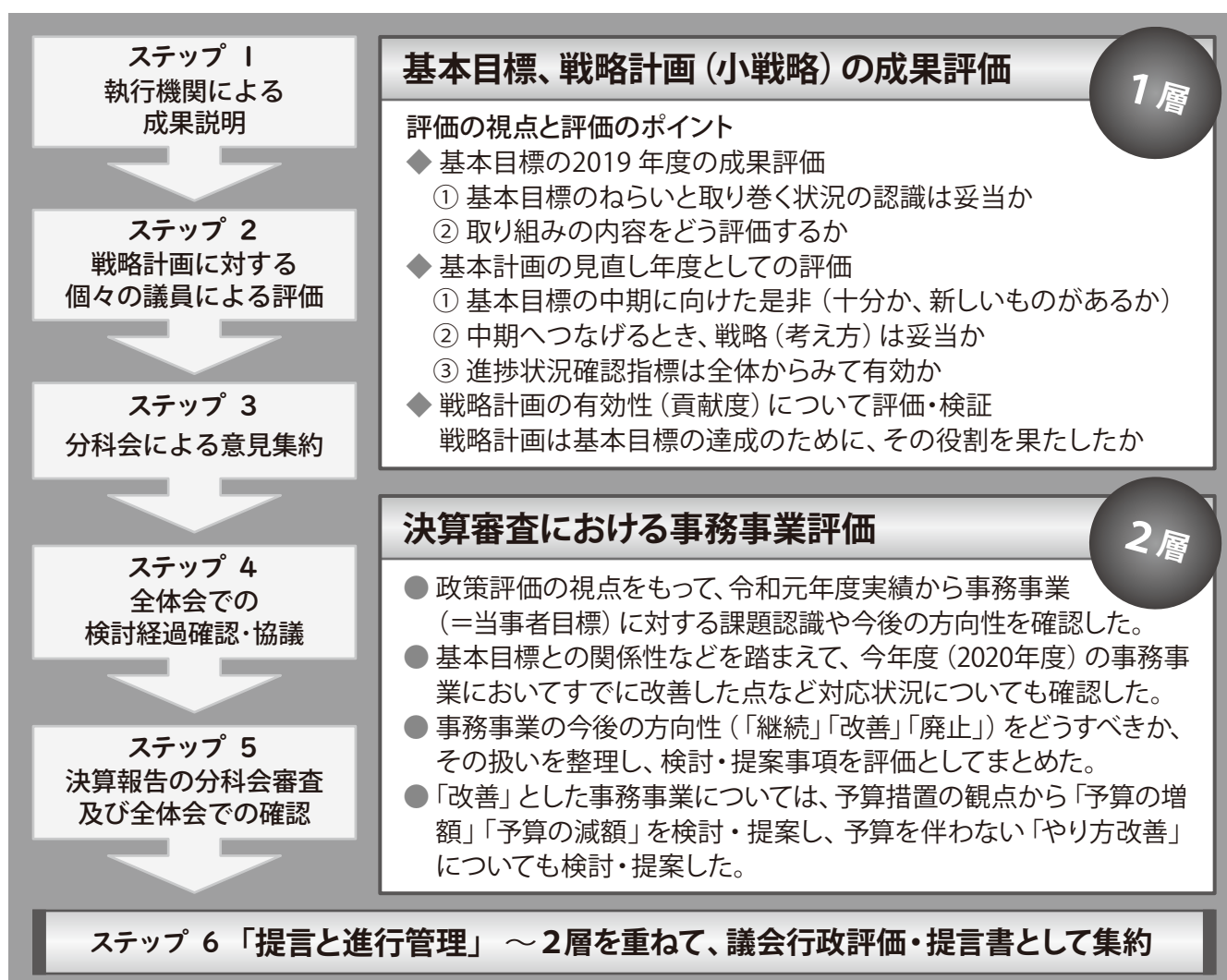
3 思い切った減収補填措置を講ずるとともに、減収補填債の対象となる税目についても弾力的に対応すること。
その他、地域間の財源偏在性の抜本的な是正など4つの事項について記載あり。

議会による行政評価・提言を行いました

令和2年度の「議会による行政評価」は、「いいだ未来デザイン2028」を議会として進行管理するため、戦略計画を中心に基本目標ごとに評価・検証を行いました。評価・検証においては、基本目標の見直し年度として2019年度の評価とともに、2020年度の現状を踏まえ、前期4年間の俯瞰(ふかん)的に見て中期につながる評価を行いました。

また、今年度の試みとして、基本目標及び戦略計画を評価対象とした政策的評価の1層目、決算審査を政策へつなげる事務事業評価の2層目、といった2層式による議会行政評価の取り組みを行い、2層を重ねて『「いいだ未来デザイン2028」の中期計画に向けて～令和2年度「議会による行政評価」からの評価及び提言書～』として集約しました。

評価・提言した内容が、今後の「いいだ未来デザイン2028」の戦略計画の見直し、中期計画の策定及び新年度予算編成へ活用され、さらなる市民サービスの向上につながることを期待しています。



▲9月23日に議長から市長へ議会行政評価・提言書を手交

提言書の詳細な内容は、飯田市議会ホームページに掲載しております。

QRコード 又は

飯田市議会 行政評価

検索

で検索してご確認ください。



総務委員会

8月31日、9月1日に委員会協議会及び予算決算分科会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



《総務分科会》

令和元年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定

3R推進事業について

Q 重要な事業であると認識するが、なぜ戦略計画に結びついていないか。

A 未来デザイン2028は、基本目標実現のための、年度に重点的に行う事業を抜き出して組み立てている。3R推進事業自体を、軽んじているわけではない。中期計画の中で、位置づけを検討していく。

キーワード

3R

Reduce（減らす）Reuse（繰り返し使う）Recycle（再資源化する）の頭文字をとった言葉で、環境に配慮した行動を示す言葉として使われています。飯田市は、平成19年3月に「環境文化都市宣言」を行い、多様な主体により人も自然も輝く持続可能な都市を目指した取り組みを行っています。



もりのエネルギー利用推進事業について

Q 啓発することで木質バイオマス機器普及の実績は上がっていくか。

A ペレットストーブの市民への浸透はまだままだと考えており、普及のため情報提供していく。

Q 木質バイオマスだけでなく、太陽光などを含めた再生可能エネルギー全体でとらえて普及啓発を行う方が、効果的では。

A ご指摘はもつともである。一方で木質バイオマスは、森林整備のほか加工流通による雇用創出など経済的効果もあるため、特に普及に取り組んでまいりたい。

Q これまでペレットを作るための補助金を出して事業化してきたと承知しているが、ペレットの生産性はどうか。

A 当初、地域セクターである南信バイオマスの設立やその工場建設にあたって国の補助を基に市としても支援を行ってきた。施設稼働後は、製造に係る支援から、製品の消費である出口を確保する支援に切り替えた。具体的にはペレットストーブを小中学校や温泉施設に設置し、供給先を確保した。



▲ペレットストーブの前でくつろぐ子ども達

社会保障・税番号制度事業について

Q マイナンバーカードを作る方が増えていると思うが、取得状況はどうか。

A 令和元年7月時点では、マイナンバーカードの交付枚数は、月94枚であったが、今年度7月は、月735枚であった。また累計も昨年の9,781枚に比べ今年は13,272枚で市民の取得率は13.3%となった。

Q 個人番号カード関連事務等委任交付金について、具体的業務は何か。

A マイナンバーカードの交付申請、交付は当市の業務であり、その間のカード作成、発行を、J-LIS（地方公共団体情報システム機構）に委任している。

消費生活センター事業について

Q エシカル消費をテーマに取り上げることだが、市としての関わりは。また今後どう展開していくか。

A これまで当地域で取り組んできた、域産域消やエコバックなども、いわばエシカル消費であり、この表現を使っていく。今後オンラインでのシンポジウムを計画したり、消費生活講座などに出向いてエシカル消費を説明していくなど、継続して取り組む。

キーワード

エシカル消費

人や社会、地球環境、地域に配慮した消費の意味で、貧困、気候変動といった世界的な課題解決に向けた取り組みの一つ。

社会文教委員会

9月1日、2日に協議分しは
員会、委員会開催し様子
会及ひを催すの様子を
科会を委員会の様子を
た。委員会をYouTubeを
YouTUBEをご覧ください。



《社会文教分科会》

令和元年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定

子ども子育て支援事業と地域子育て支援事業について

Q 子育て支援事業について、関係機関とのさらなる連携をどう考えるか。

A 「ゆいきつず」を中心に、病院や学校、福祉機関などとの連携を進めている。また、発達支援では、関係機関がその子の特性を共通言語で理解できることが不可欠であり、外部のアドバイスも得ながら研究を進めている。

意見 地域で子どもを育てるという視点で、地域との連携も研究して欲しい。

乳幼児親子学習交流支援事業について

Q 乳幼児に関しては、子育て支援課や保健課が所管となっているが、公民館の役割は。

A 公民館は親子の交流の場を作ることが第一だと考えている。乳幼児学級の開催にあたっては、保健師と一緒に課題を把握し、自主的な活動にもつながるように地区ごとの

企画を立てている。

意見 乳幼児学級に限らず、子育てについては公民館の果たす役割が非常に大きいと考える。庁内の連携が必要と思うので、公民館と子育て支援課や保健課の課長同士でも課題共有し、意思疎通を図って欲しい。

体育施設維持管理事業について

Q 飯田市のスポーツ施設に関する考え方は。

A 市のスポーツ施設への要望としては、グラウンドの芝生化や体育館の不具合、観覧席の要望などの声をお聴きしている。飯田市の将来のスポーツ文化醸成とリニアを見据えた絵姿を教育委員会としてしっかり議論し、来年度の予算審査の際にはお示ししたい。



▲地方大会で公式記録として認定される「第2種陸上競技場」の公認更新に向けて、令和元年度に全面改修を行った飯田市総合運動場（松尾）

考古博物館管理運営事業について

Q 考古博物館など文化施設の活用の方や指定管理に関する考え方は。

A 考古博物館については、議会の指摘を受け、現場の職員と協議を重ねている。地域の研究者にとつて、考古学の活動拠点の象徴として施設を活用する方向で検討している。また、遠山郷の施設に関しては、後継者育成の視点も含めて、もっと活用可能であると考えており、来年度に向けて十分な検討を重ねたい。

令和元年度飯田市病院事業決算認定

飯田市立病院事業報告について

Q 市立病院の検査機器の最近の状況は。

A 臨床の検査機器やCTやMRIなどの放射線機器も最新のものを導入しており、病気の検査・診断の充実に努めている。最近では、新型コロナウイルスに対応するPCR検査装置や抗原検査装置を導入し、迅速に検査結果を出すために対応している。



▲新型コロナウイルスの遺伝子配列の存在を検出するための「PCR検査装置」

産業建設委員会

9月2日、3日に委員会協議会及び委員会協賛分科会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



委員会の所管事務調査を報告

産業建設委員会では、「遠山郷の指定管理施設の運営状況について」をテーマとして昨年度（令和元年度）からおよそ1年間をかけて調査研究を行い、所管事務調査報告書としてまとめるとともに、所管する市産業経済部に對して提案を行いました。（詳しくは前回の飯田市議会だより第219号を参照）

このことについて、8月19日に南信濃を全委員で訪問し、南信濃まちづくり委員会へ説明するとともに、今後も引き続き、市の取り組みや委員会から提案した事項に対する市の対応状況を監視するとともに、その結果を検証していくことを伝えました。

7月の豪雨で被災した中橋など現地を確認

南信濃訪問に合わせて、7月豪雨により被災した中橋と揚湯ポンプ落下事故のあった、かぐらの湯の源泉を現地確認するとともに、市が直営するかぐらの湯の現状を確認しました。中橋は、和田のまちなかから対岸のかぐらの湯方面を結ぶとともに、上下水道と温泉水

の管路が設置されており、地域の皆さんにとって重要な橋です。上下水道は別ルートで補完されていますが、橋の通行は安全上できない状況です。市は早期復旧に向けて取り組んでいく方針ですが、将来の遠山郷の周遊観光も見据えた整備が期待されます。

かぐらの湯の源泉は、温泉施設から約3キロ離れた山中にあり、源泉井戸の横の空き地に一部引き上げられた揚湯管が置かれていました。事故の解決に向け、今後の市の対応に注目が必要です。



▲豪雨によって橋桁がずれた状態の「中橋」

令和元年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定
農産物ブランド向上・6次産業化推進事業における市田柿の海外展開について

Q 市田柿の生産出荷の全体2千トのうち海外へ50トを輸出しているということだが、所得や経済効果はどうか。また、輸出口益と国内利益の比較は。

A 輸出口益と国内利益の比較はしていない。海外販売においては、国内販売と同水準の利益を確保できるよう設定している。つまり、国内の相場へ輸送経費などを加味して販売している。

強い園芸産地育成事業における市田柿の特認生産者や中核的生産者への支援について

Q 特認生産者ら64人の生産量は、市田柿の総生産量に対してどのくらいの割合を占めるのか。

A 特認生産者55人による出荷量は195トン、中核的生産者9人は報告義務がないためデータがない。南信州2,094トのうち特認生産者の割合が9・3パーセント。中核的生産者を入れるとそれ以上になる。

Q 市田柿生産の9割が中小の生産者という中で、特認に対する補助のあり方は。

A 市田柿の一般生産者に対しては、JAや園協が取りまとめて支援しているが、特認生産者に対しては政策上、補助率が高い。



予算決算 委員会

8月25日に前期全体会、9月17日に後期全体会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



令和2年度一般会計補正予算（第7号）案に関して

歳出の総務費リニア推進事業費及びリニア代替地整備事業費の削減を求めるための予算組み替え動議がありましたが、否決されました。

動議の提案者に対し、削減する事業費の内容について確認する旨の質疑があり、その後の討論では「組み替え動議」に対する反対討論がありました。



▲丹保・北条地区代替地（上郷）

令和元年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

討論

総務費のリニア推進事業費に関して、「必要でない事業は直ちに停止して様子を見るべき」との立場から、決算の認定に反対する討論がありました。

リニア推進 特別委員会

9月7日に特別委員会及び特別委員会協議会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



代替地整備の状況について

上郷の丹保・北条地区、座光寺の唐沢宮の前地区及び共和地区における、それぞれの代替地の位置、現在行っている工事の内容と数量、代替地全体の概要などについて執行機関の説明がありました。

また、松川インター大鹿線改良工事の迂回路として長野県が整備した小渋川の河川内道路が被災し、7月1日から通行止めとなっており、河川内道路の早期復旧に向けて長野県が工事を進めているとの説明がありました。



▲唐沢宮の前地区代替地（座光寺）

Q 移転を余儀なくされる皆さんに対して、刻一刻と変わる情報が確実に伝わっているか。

A 代替地のイメージをつかんでいただくための区画の見学に関し、関係する皆さんに通知をした。また個別に交渉をする中で、区画の見学、工事の進捗についても合わせて説明を行っている。

Q 代替地登録制度の締切、受付の状況は。

A 代替地登録制度の締切は9月末というところで受付を行っている。9月末の代替地登録制度の申し込みの結果については議会に報告をさせていただく。

Q リニア事業の全体工程がどのように動いているかがわからないため、工程表として示すことは可能か。

A 可能である。代替地の移転者に対しては個別の事情に応じて交渉の中で説明をさせていただいている。事業全体に関わる工程として、年に一度リニア推進ロードマップで大まかな工程をお示ししているが、年度の途中で変更が見越せるものについては随時お話しさせていただく。



「子育ての孤立化」をテーマに、社会文教委員会が「課題共有型えんたく会議」を開催

社会文教委員会は、「子どもを見守り育む社会について」を調査研究テーマとし、調査研究を進めています。

7月29日に、龍谷大学政策学部の土山希美枝教授をオンラインでのコーディネーター役に依頼。土山教授が各地で実践されている「課題共有型えんたく会議」の手法による研修会を開催しました。

飯田市の「子育ての現状」と課題の共有を行い、『社会的処方』による地域のつながりが子育ての孤立を救うをテーマとして、保健師、保育園長、図書館分館長、子育て支援NPO代表らが話題提供を行い、参加者がグループに分かれて話題の振り返りと発表を行った後、共有すべき情報と課題の整理を行いました。



▲京都と飯田をオンラインでつないで会議を実施

表紙紹介

がんばっとるに!! 丸山

「地域の子どもは地域で育てる」取り組みとして平成29年度から、羽場、丸山、東野の3公民館による「夏休み子ども寺子屋」が開催されています。

夏休みの学習やさまざまな体験活動に対し、地域のボランティアの方が大勢支援して下さる中、疫病退散の妖怪「アマビエ」を水引で作る令和2年度ならではの体験の機会も設けられました。

議会の動き(予定)

- 第4回定例会 11月25日(水)～12月18日(金)
- 代表質問 12月7日(月)～8日(火) (傍聴可能)
- 一般質問 12月8日(火)～9日(水) (傍聴可能)
- ※ 質問内容は11月27日の午後以降に飯田市議会ホームページに掲載されますのでご確認ください。
- 委員会日程(傍聴可能)
- 予算決算(前期全体会11月25日、後期全体会12月18日)
- 総務(12月10日) 社会文教(12月11日)
- 産業建設(12月14日) リニア推進(12月16日)
- 議会への請願・陳情は、11月18日(水)午後5時までに、議会事務局へご提出ください。

甲府市議会によるオンライン視察の受け入れ

8月6日に、甲府市議会の会派「こうふ未来」の皆さんからのご依頼により、オンラインによる行政視察の受け入れを行いました。

今年度はコロナ禍で行政視察の受け入れに制約がある中、Zoomを活用したオンライン会議であれば可能であると判断し、行政視察を受け入れました。

リニア駅周辺整備に関し、リニア開業に向けた体制づくり、リニア開業効果などについて、飯田市のリニア推進部から説明を行い、質疑応答が行われました。



▲Zoomを活用したオンライン視察の様子

コロナ禍を契機として、従来とは異なる新たな会議の可能性が広がります。

どうする どうなる

ここに注目!

全員協議会などにおける協議事項や報告事項をご紹介します。

(仮称)飯田駅前プラザ(旧ピアゴ)活用プランについて

2018年9月に、飯田駅前の商業施設「ピアゴ」が閉店。翌年11月には吉川建設株式会社が同施設の土地と建物を取得し、今年8月に同社と市が2022年春のオープンを目指して(仮称)「飯田駅前プラザ」の整備を進めると発表しました。

両者がまとめた「基本的な考え方」によれば、2021年度に着工し、1階をスーパーなどの商業エリア、2階と3階を公共エリアに区分し、4階と5階に吉川建設株式会社の本社機能を移す予定です。

公共交通の結節点、中心拠点の玄関口、商業施設が集積するという立地の特性を活かし、「ヒト」「モノ」「コト」が集まり、新たな価値を創発する場を目指して整備が進んでいきます。



整備のイメージ

5階	オフィスエリア
4階	吉川建設株
3階	公共エリア
2階	ホール施設など
1階	商業エリア スーパーほか

広報広聴委員会

委員長	竹村 圭史	副委員長	福澤 克憲
委員	清水優一郎	塚平 一成	古川 仁
	永井 一英	新井信一郎	井坪 隆